

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスコミュニケーション I		(TCM205)
講義名（コード）	TCM_ビジネスコミュニケーション I_B		(TCM205B)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	川本 千陽	時間数	30
成績評価教員	川本 千陽	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	医療を中心に様々な事柄の文章を読み、ディベートや発表などの活動を通してその事柄だけでなく他者の主張も深く理解していく。高度な日本語表現を習得する。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	事実関係に注目して読み解くことができる。	必修パターン読解 2-A unit1 パワードリル文字語彙 第16回
2	即時応答の問題に慣れる。	必修パターン聴解 Part2 第4章 unit2-5 パワードリル文法 第13回
3	論理関係に注目して読み解くことができる。	必修パターン読解 2-A unit2 パワードリル文字語彙 第17回
4	二人以上の会話を理解する。	必修パターン聴解 Part2 第5章 unit1 パワードリル文法 第14回
5	筆者の考え方に注目して読み解くことができる。	必修パターン読解 2-B unit1 パワードリル文字語彙 第18回
6	一人の話を受けて二人の会話から立場を理解する。	必修パターン聴解 Part2 第5章 unit2 パワードリル文法 第15回
7	登場人物の心の動きに注目して読み解くことができる。	必修パターン読解 2-B unit2 パワードリル文字語彙 第19回
8		実践演習
9	主観的な感想を読み解きながら情景を想像することができる。	必修パターン読解 2-B unit3 パワードリル文字語彙 第20回
10		実践演習
11	問題文の基本的な読み方をマスターする。	必修パターン読解 PART2 第1章 unit1 パワードリル文字語彙 第21回
12	文法問題を集中して時、文法問題に慣れる。	パワードリル文法 第16～18回
13		前期期末試験
14		前期期末試験のFB
15		前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	必修パターン読解N1 必修パターン聴解N1 パワードリルN1 文字語彙・文法
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	